

令和6年度

# 江南厚生病院

## 歯科医師臨床研修プログラム B

プログラム番号 090023003

(研修期間 2年)

愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院

愛知県江南市高屋町大松原137番地

TEL (0587) 51-3333

FAX (0587) 51-3300

### 【歯科医師臨床研修の基本理念】

歯科医師臨床研修は、歯科医師が歯科医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、歯科医学及び歯科医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な歯科診療において頻繁に関わる疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けることのできるものでなければならない。

### 【江南厚生病院理念】

- 一、私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- 一、私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- 一、私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します

### 【病院訓】

- 一、自分を見直し、甘えを反省しましょう
- 一、患者さんの気持ちで、接しましょう
- 一、お互いを理解し、仲良く働きましょう

### 【基本方針】

#### (1) 高度・専門医療

高度・専門医療を提供することで、尾張北部を中心とした地域の中核病院としての役割を担う。

#### (2) 救命救急、災害医療

救命救急センターとして、24時間体制で救急医療を提供する。災害時には、地域中核災害拠点病院の役割を担う。

#### (3) 市民病院的な役割

地域住民が安心して暮らせるよう、不採算医療を含む様々な病気に対応できる診療体制を整え、安全で質の高い医療を提供する。

#### (4) 教育研修病院

臨床研修施設として、また、各種学会認定の研修施設として、広く医療及び医療従事者の資質向上に努める。

#### (5) 地域連携

地域の医療機関や福祉施設等との連携強化を図ると共に、医療福祉関係者との研修、人的交流を通じて地域の医療福祉の向上に努める。

#### (6) 予防医療

健康管理センターを中心に健診の質向上を図り、生活習慣病を軸とした保健活動に力を入れ、また、疾病の早期発見に努める。

## 【患者さんの権利と責任】

1. 患者さんは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。

国籍、宗教、性別、年齢、社会的地位、病気の種類などにかかわらず、どなたでも平等に医療を受けることができます。ただし、病院の施設・設備上、必要な医療が受けられないと予測される場合にはご相談のうえ適切に対応いたします。

2. 患者さんは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、十分な納得と同意の上で適切な医療を選択し受けることができます。

主治医からの十分な説明を受け納得していただいたうえで、今後の医療内容について同意をいただくことになっています。主治医の説明が分かりにくい場合には、その旨をお申し出ください。また、主治医が説明をする際には、できるだけ近親の方も同席していただくことをおすすめします。高齢者や幼児など、意識や判断力が十分でないと思われる方には代理人を立てていただき、相談や必要な同意をいただくこともあります。なお、緊急の際にはそれができないこともありますのでご承知おきください。

3. 患者さんは、今受けている医療の内容についてご自分の希望を申し出ることができます。

あなたが今受けている治療、処置、検査、看護、食事、その他についてご希望がある場合は、お申し出ください。また、他の医療機関に移りたい場合、あるいはセカンドオピニオンを希望する場合には、その旨お申し出ください。あなたにとって適切な治療処置について必要な情報を提供いたします。

4. 患者さんの医療上の個人情報保護されています。

あなたについて医療上知り得た内容をみだりに他に漏らさないことは、医療従事者の当然の職務として遵守いたします。従って、あなたの個人的な情報が漏れる心配はありませんのでご安心ください。なお、家族を含め他の人に知らせてほしくない場合は前もってお知らせ下さるようお願いいたします。

5. 患者さんは、これらの権利を守るため、医療従事者と力を合わせて医療に参加、協力する責任があります。

あなたのアレルギー情報、既往歴などの健康に関する情報を提供いただくこと、注射・採血・検査時等にお名前を名乗っていただくことなどにより、医療過程における安心・安全に努め、患者さんとの信頼関係に基づいた医療を行います。

### 【職業倫理綱領】

私たち江南厚生病院職員は、医療人としての職責の重さを深く認識し、厚生連ならびに当院の理念に基づき、ここに次の職業倫理を定める。

1. 医療の質の向上のため、常に知識と技術の研鑽に努めます。
2. 医療従事者として各職種間の相互理解と協力により、良質な医療を提供します。
3. 医療の公共性を重んじ、関係法令を遵守します。
4. 医療を通して、この地域の発展に貢献します。

### 【医療倫理綱領】

江南厚生病院は、患者の人格・人権を重んずるとともに、医療の進歩に貢献するため、ここに医療倫理を定める。

1. 患者の病気、地位、宗教、人種等により差別することなく平等な医療を提供します。
2. 患者との相互理解に努め、十分な説明のもと、自己決定権を尊重します。
3. 患者の人格・人権を守るため、守秘義務の遵守と個人情報の保護を徹底します。
4. 医療の進歩・発展に必要な臨床研究や倫理的問題については院内の委員会で審査します。

# 江南厚生病院歯科医師臨床研修プログラムB

## 1. プログラムの名称

江南厚生病院歯科医師臨床研修プログラムB

## 2. プログラムの特色

歯科医学の高度化、複雑化に伴い、基礎的な歯科診療技術を確実に身につけ、プライマリケアに十分に対応しうる臨床医を養成することが必要不可欠となる。そして歯科疾患も全身疾患の一疾患であることを理解しつつ、全人的医療を行なうために各種基礎疾患を持った患者の治療を通じて、総合的な治療を行うことが必要である。当院における臨床研修プログラムは、幅広い口腔外科疾患への対応、全身的风险を有する患者への対応、緊急時の初期対応が出来るような内容であり、将来の口腔外科専門医を目指す、意欲のある研修歯科医を養成するものである。また研修期間中にBLSおよびACLSの講習もあり、救急治療の手順を身に付けるように配慮している。

## 3. 研修施設

### (1) 研修実施施設

#### ①施設名

愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院（単独型臨床研修施設）

#### ②所在地

愛知県江南市高屋町大松原137番地

#### ③施設長

病院長 河野 彰夫

## 4. プログラム責任者

### (1) 総括責任者管理者 兼 管理者

病院長：河野 彰夫

### (2) プログラム責任者(指導責任者)

歯科口腔外科代表部長：安井 昭夫（指導歯科医、口腔外科専門医・指導医）

### (3) 事務部門責任者

事務部長：田實 直也

## 5. プログラム管理運営及び指導体制

### (1) 歯科医師臨床研修管理委員会

臨床研修全般の管理運営、歯科医師臨床研修プログラムの立案、作成した歯科医師臨床研修プログラムの管理、研修歯科医の採用・管理と研修状況の評価(中断・修了時の手続き・研修修了判定の評価を含む)、指導歯科医等の管理・指導などを行う。

## (2) プログラム責任者の役割

- ① プログラム責任者は、2年間を通じて個々の研修歯科医の指導・管理(各研修歯科医間の調整、各診療科の研修歯科医間の調整など)を担当する。
- ② プログラム責任者は、指導歯科医と密接な連携をとり、研修歯科医の目標達成状況を適宜把握し、研修歯科医が修了時までには到達目標を全て達成できるように調整を行うとともに、歯科医師臨床研修管理委員会にその状況を報告する。

## (3) 指導歯科医の役割

指導歯科医は、担当する診療科での研修期間中、個々の研修歯科医について診療行為も含めて指導を行い、適宜目標達成状況を把握する。

## (4) 指導歯科以外の歯科医師の役割

上級歯科医は、プログラム責任者及び指導歯科医の指示に従い、担当する診療科での研修期間中、個々の研修歯科医の診療行為の指導を行い、プログラム責任者及び指導歯科医に適宜目標達成状況を報告し、研修歯科医の到達目標の習得を助ける。

## (5) 指導体制

原則として、指導歯科医とマンツーマンで外来・入院診療を行う。研修歯科医は、指導歯科医の直接的指導の下で研修を行う、あるいは指導歯科医の指導の下で、指導歯科医以外の歯科医(いわゆる上級歯科医)とともに診療チームを形成して研修を行う。

### (歯科医師臨床研修管理委員会)

総括責任者	病院長	内科	河野 彰夫
委員長 プログラム責任者	代表部長	歯科口腔外科	安井 昭夫
委員	代表部長	麻酔科	野口 裕記
委員	部長	歯科口腔外科	脇田 壮
委員	医員	歯科口腔外科	尾崎 傑
委員	歯科衛生士	歯科口腔外科	溝口 真里子
委員	看護課長	7東病棟	高杉 美穂
委員	事務部長	事務部門	田實 直也
外部委員	理事長	中央歯科クリニック	安藤 雅康

## 6. 募集人員 1名

募集方法 公募による

選考方法 面接、小論文(手書きによる)、適性検査  
マッチングシステムを利用し、採用を決定する。

## 7. プログラムの概要

### (1) 研修目標の概要

患者中心の全人的医療を理解して、全ての歯科医師に求められる基礎的な歯科診療能力(知識、技能、態度)を身に付けることを目標とする。そして歯科医師として求められる人格をかん養するために、将来の専門性にかかわらず、広く医学、医療の

ニーズを認識しつつ、一生涯を通じて行われる自己研鑽をする態度を身に付ける。基本的な歯科治療に必要な臨床能力を身につけた後、歯科臨床医としての独立の第一歩とする。とくに日本口腔外科学会研修機関としての口腔外科に係る臨床能力の習得に力を入れている。

(2) 研修施設及び期間

施設名 愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院  
研修期間 2年間（2024年4月1日～2026年3月31日）※法定研修期間は2年  
2年目修了時に臨床研修修了証を発行する  
研修開始の4月初旬から中旬にかけオリエンテーション、電子カルテシステムの説明、各種見学などが行われる。

(3) 教育に関する行事

症例検討会：歯科口腔外科において週に1回程度行う。  
抄読会：歯科口腔外科において月に1回程度行う。  
入院症例報告会：研修歯科医による入院症例の報告を外来にて週1回行う。  
その他：講演会、CPC、学会発表（年1回）  
またBLSおよびACLSの講習も研修期間中に学ぶ。

(4) 評価に関する事項

修了判定を行う項目は、研修歯科医評価票の記載状況による。また修了判定を行う基準は、評価票の項目が4段階評価で80%以上がレベル3以上であること。

8. 研修歯科医の処遇

常勤非常勤の別 常勤

勤務時間 8:30 ～ 17:00 休憩50分

時間外勤務 なし

当直勤務 なし

休日及び休暇

土曜日、日曜日、祝日、年末年始5日間12/30～1/3、8/15、有給休暇、産休等、労働基準法どおり。

給与・月額

	基本給	賞与／年	年収
一年次	350,000	1,400,000	5,600,000円
二年次	380,000	1,520,000	6,080,000円

保険 健康保険(愛知県農業健康保険組合)、厚生年金、労災保険、雇用保険

宿舎 ワンルームマンション(男・女)

研修医室 1室(歯科研修医・医科研修医兼用)

食事 職員食堂(有料)

健康管理 健康診断 年2回

歯科医師賠償責任保険

病院において加入(個人加入は病院加入の保険会社を推奨し、加入させている)

外部の研修活動

研修歯科医は学会への参加を認められており、年1回の学会出張旅費支給ならびに総会費を病院が支給。また、BLSおよびACLSの講習費も病院が支給。

#### 9. 出願問い合わせ及び資料請求先

〒483-8704 愛知県江南市高屋町大松原137番地  
江南厚生病院 教育研修課 臨床研修担当  
TEL (0587)51-3333(内線3050)

#### 10. 到達目標

##### (1) 歯科医師としての基本的価値観(プロフェッショナリズム)の習得

###### ①社会的使命と公衆衛生への寄与

社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。

###### ②利他的な態度

患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先するとともにQOLに配慮し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。

###### ③人間性の尊重

患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。

###### ④自らを高める姿勢

自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。

##### (2) 資質・能力の習得

###### ①医学・医療における倫理性

診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。

- 1 人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。
- 2 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。
- 3 倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。
- 4 利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。
- 5 診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。

###### ②歯科医療の質と安全の管理

患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。

- 1 医療の質と患者安全の重要性を理解し、それらの評価・改善に努める。
- 2 日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。
- 3 医療事故等の予防と事後の対応を行う。
- 4 歯科診療の特性を踏まえた院内感染対策について理解し、実践する。
- 5 医療従事者の健康管理(予防接種や針刺し事故への対応を含む。)を理解し、自らの健康管理に努める。

###### ③医学知識と問題対応能力

最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。

- 1 頻度の高い疾患について、適切な臨床推論のプロセスを経て、鑑別診断と初期対応を行う。
- 2 患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質

に配慮した臨床決断を行う。

- 3 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。
- 4 高度な専門医療を要する場合には適切に連携する。

#### ④診療技能と患者ケア

臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・意向に配慮した診療を行う。

- 1 患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。
- 2 診察・検査の結果を踏まえ、一口腔単位の診療計画を作成する。
- 3 患者の状態やライフステージに合わせた、最適な治療を安全に実施する。
- 4 診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成する。

#### ⑤コミュニケーション能力

患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。

- 1 適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。
- 2 患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して患者の主体的な意思決定を支援する。
- 3 患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。

#### ⑥チーム医療の実践

医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。

- 1 歯科医療の提供にあたり、歯科衛生士、歯科技工士の役割を理解し、連携を図る。
- 2 多職種が連携し、チーム医療を提供するにあたり、医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。
- 3 医療チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る。

#### ⑦社会における歯科医療の実践

医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会に貢献する。

- 1 健康保険を含む保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。
- 2 地域の健康問題やニーズ把握など、公衆衛生活動を理解する。
- 3 予防医療・保健・健康増進に努める。
- 4 地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。
- 5 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要について理解する。

#### ⑧科学的探究

医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。

- 1 医療上の疑問点に対応する能力を身につける。
- 2 科学的研究方法を理解し、活用する。
- 3 臨床研究や治験の意義を理解する。

#### ⑨生涯にわたって共に学ぶ姿勢

医療の質の向上のために省察し、他の歯科医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。

- 1 急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。
- 2 同僚、後輩、歯科医師以外の医療職と互いに教え、学びあう。
- 3 国内外の政策や医学及び医療の最新動向(薬剤耐性菌等を含む。)を把握する。

### (3) 基本的診療業務の習得

#### ① 基本的診療能力等

- 1 基本的診察・検査・診断・診療計画
  - a. 患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する
  - b. 全身状態を考慮した上で、顎顔面及び口腔内の基本的な診察を実施し、診察所見を解釈する。
  - c. 診察所見に応じた適切な検査を選択、実施し、検査結果を解釈する。
  - d. 病歴聴取、診察所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行う。
  - e. 診断結果に基づき、患者の状況・状態を総合的に考慮した上で、考え得る様々な一口腔単位の診療計画を検討し、立案する。
  - f. 必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患者及び家族の意思決定を確認する。
- 2 基本的臨床技能等
  - a. 歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を実践する。
  - b. 一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を実践する。
    - A. 歯の硬組織疾患 B. 歯髄疾患 C. 歯周病 D. 口腔外科疾患
    - E. 歯質と歯の欠損 F. 口腔機能の発達不全、口腔機能の低下
  - c. 基本的な応急処置を実践する。
  - d. 歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を評価する。
  - e. 診療に関する記録や文書(診療録、処方せん、歯科技工指示書等)を作成する。
  - f. 医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し、実践する。
- 3 患者管理
  - a. 歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する。
  - b. 患者の医療情報などについて、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。
  - c. 全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。
  - d. 歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を実践する。
  - e. 入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践する。
- 4 患者の状態に応じた歯科医療の提供
  - a. 妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理について理解し、実践する。

- b.各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。
- c.障害を有する患者への対応を実践する。

## ②歯科医療に関連する連携と制度の理解等

### 1 歯科専門職間の連携

- a.歯科衛生士の役割を理解し、予防処置や口腔衛生管理の際に連携を図る。
- b.歯科技工士の役割を理解し、適切に歯科技工指示書を作成するとともに、必要に応じて連携を図る。
- c.多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を理解し、説明する。

### 2 多職種連携、地域医療

- a.地域包括ケアシステムについて理解し、説明する。
- b.地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する。
- c.がん患者等の周術期等口腔機能管理において、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、多職種によるチーム医療に参加し、基本的な口腔機能管理を経験する。
- d.歯科専門職が関与する多職種チーム(例えば栄養サポートチーム、接触嚥下リハビリテーションチーム、口腔ケアチーム等)について、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、チーム医療に参加し、関係者と連携する。
- e.入院患者の入退院時における多職種支援について理解し、参加する。

### 3 地域保健

- a.地域の保健・福祉の関係機関、関係職種を理解し、説明する。
- b.保健所等における地域歯科保健活動を理解し、説明する。

### 4 歯科医療提供に関する制度の理解

- a.医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを理解し、説明する。
- b.医療保険制度を理解し、適切な保険診療を実践する。
- c.介護保険制度の目的と仕組みを理解し、説明する。

## 11. 到達目標の達成に必要な症例数

### ①基本的診療能力等

#### 1 基本的診察・検査・診断・診療計画

<研修内容:初診患者に対し、aからfまでを一連で実施する。>

<症例数: 100症例>

- a.患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する。  
<研修内容:初診時医療面接、再診時医療面接>

- b.全身状態を考慮した上で、顎顔面及び口腔内の基本的な診察を実施し、診察所見を解釈する。

<研修内容:口腔内診察、頭頸部診察、各種検査の必要性の判断>

- c. 診察所見に応じた適切な検査を選択、実施し、検査結果を解釈する。  
 <研修内容: 周術期の患者に対して口腔ケアを行うため、エックス線検査、  
 歯周組織検査を重点的に行い、検査結果の解釈を実施している>
- d. 病歴聴取、診察所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行う。  
 <研修内容: 担当患者の診断>
- e. 診断結果に基づき、患者の状況・状態を総合的に考慮した上で、考え得る  
 様々な一口腔単位の診療計画を検討し、立案する。  
 <研修内容: 診療計画に関するカンファレンス参加、プロトコール作成>
- f. 必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患者  
 及び家族の意思決定を確認する。  
 <研修内容: 患者への病状説明、インフォームドコンセント、同意書の取得>

## 2 基本的臨床技能等

- a. 歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を実践する。  
 <研修内容: ブラッシング指導、フッ化物歯面塗布>  
 <症例数: 20症例>
- b. 一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を  
 実践する。
- A. 歯の硬組織疾患  
 <研修内容: う蝕(コンポジットレジン修復やインレー修復等)の修復>  
 <症例数: 10症例>
- B. 歯髄疾患  
 <研修内容: 歯髄処置(抜髄、感染根管処置)>  
 <症例数: 5症例>
- C. 歯周病  
 <研修内容: スケーリング、SRP>  
 <症例数: 10症例>
- D. 口腔外科疾患  
 <研修内容: 日本口腔外科学会認定研修施設に準じた研修>  
 <症例>
- 口腔裂傷止血縫合術 5症例
  - 普通抜歯術 100症例
  - 埋伏抜歯術 30症例
  - 歯根嚢胞摘出術 5症例
  - 下顎骨骨折観血的整復固定術 2症例

下顎骨骨折非観血的整復固定術(顎間固定術) 2症例

静脈路確保 50症例

\*二年次研修からは、麻酔科研修に1か月従事し、呼吸管理、気管内挿管を実践する(全身麻酔症例30症例)。

また希望があれば、耳鼻咽喉科研修などにも従事できる。

E. 歯質と歯の欠損

〈研修内容:補綴治療〉

〈症例数: 5症例〉

F. 口腔機能の発達不全、口腔機能の低下

〈研修内容:高齢者の摂食嚥下機能訓練〉

〈症例数: 10症例〉

c. 基本的な応急処置を実践する。

〈研修内容:外傷、疼痛、修復物の脱離、義歯破損への対応〉

〈症例数: 10症例〉

d. 歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を評価する。

〈研修内容:担当患者の診療に必要なバイタルサインを測定し、全身状態を評価する。〉

〈症例数: 20症例〉

e. 診療に関する記録や文書(診療録、処方せん、歯科技工指示書等)を作成する。

〈研修内容:担当患者の診療に必要な診療記録や文書を作成する。〉

〈症例数: 20症例〉

f. 医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し、実践する。

〈研修内容:院内研修に参加し基本的な対策について理解し、実践する。〉

〈症例数: 20症例〉

### 3 患者管理

a. 歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する。

〈研修内容:基礎疾患で医科診療中の患者に、歯科治療上の問題点と服薬等について説明する。〉

〈症例数: 10症例〉

b. 患者の医療情報などについて、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。

〈研修内容:基礎疾患で医科診療中の患者に対して、患者の医療情報など

について主治医と診療情報を共有する。>

<症例数： 10症例>

c.全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。

<研修内容:全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。>

<症例数： 10症例>

d.歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を実践する。

<研修内容:診療時の主な併発症や偶発症への対応法を実践する。>

<症例数： 10症例>

e.入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践する。

<研修内容:入院患者に対して周術期管理を行う。>

<症例数： 20症例>

#### 4 患者の状態に応じた歯科医療の提供

a.妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理について理解し、実践する。

<研修内容:患者の状態に応じた歯科疾患の予防管理、口腔機能管理について理解し、実践する。>

<症例数： 10症例>

b.各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。

<研修内容:患者の全身状態に応じた歯科医療を実践する。>

<症例数： 10症例>

c.障害を有する患者への対応を実践する。

<研修内容:身体的または知的障がいをもつ患者の歯科診療に必要な対応を行う。>

<症例数： 5症例>

#### 12. 症例数

(1)到達目標達成に必要な症例数 合計450症例(各目標症例数の6割以上を経験、かつ、1症例以上を経験すること)

(2)経験することを目標とする症例数 合計750症例

#### 13. 臨床研修の修了

(1)臨床研修の修了基準

#### ア 研修実施期間の評価

管理者は、研修歯科医が研修期間の間に、以下に定める休止期間の上限を減じた日数以上の研修を実施しなければ修了と認めない。

##### (ア) 休止の理由

研修休止の理由として認めるものは、傷病、妊娠、出産、育児その他正当な理由（研修プログラムで定められた年次休暇を含む）であること。

##### (イ) 必要履修期間等についての基準

研修期間を通じた休止期間の上限は90日（研修機関（施設）において定める休日を含めない。）とする。

##### (ウ) 休止期間の上限を超える場合の取り扱い

研修期間終了時に当該研修歯科医の研修休止期間が90日を超える場合には、未修了とするものである。この場合、原則として引き続き同一の研修プログラムで研修を行い、90日を超えた日数分以上の日数の研修を行う。

##### (エ) プログラム責任者の役割

プログラム責任者は、研修休止の理由の正当性を判定し、履修期間の把握を行わなければならない。研修歯科医が修了基準を満たさなくなる恐れがある場合には、事前に研修管理委員会に報告・相談するなどして対策を講じ、当該研修歯科医があらかじめ定められた研修期間内に研修を修了できるように努めなければならない。

#### イ 臨床研修の到達目標（臨床歯科医としての適性を除く。）の達成度の評価

管理者は、研修歯科医があらかじめ定められた研修期間を通じ、各到達目標について達成したか否かの評価を行う。

### 14. 修了認定

歯科医師臨床研修管理委員会を開催し修了認定の承認を受ける。また、修了と認められた場合、速やかに当該研修歯科医に関する事項を記載した臨床研修修了証を交付する。

### 15. 研修終了後の進路

江南厚生病院歯科口腔外科では研修終了後の進路に不安のないように、いくつかの選択肢を設定して進路相談することを心がけている。当院で2年間の研修終了後、愛知学院大学歯学部顎口腔外科学講座に入局し、口腔外科疾患の臨床経験や学術活動の研鑽を重ね、高度な専門教育を受けて幅広い見識を得ることを期待しています。また大学院生として博士号取得を目指す進路も選択肢として設定し、将来に対する可能性や希望を与えるように配慮している。5年、10年後を見据えて将来、口腔外科専門医として活躍することを考えて、大学病院でその基礎を築く道を歩むことを期待する。

「A. 歯科医師としての基本的価値観(プロフェッショナリズム)」に関する評価

研修歯科医名 \_\_\_\_\_

研修分野・診療科 \_\_\_\_\_

観察者氏名 \_\_\_\_\_ 区分  歯科医師  歯科医師以外(職種名 \_\_\_\_\_ )

観察期間 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ~ \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

記載日 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察 機会なし
<b>A-1. 社会的使命と公衆衛生への寄与</b> 社会的使命を自覚し、説明責任をはたしつづ、社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
<b>A-2. 利他的な態度</b> 患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先するとともにQOLに配慮し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
<b>A-3. 人間性の尊重</b> 患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
<b>A-4. 自らを高める姿勢</b> 自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				

良かった点を記述してください。

改善すべき点を記述してください。

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 \_\_\_\_\_

研修分野・診療科 \_\_\_\_\_

観察者氏名 \_\_\_\_\_ 区分  歯科医師  歯科医師以外(職種名 \_\_\_\_\_ )

観察期間 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ~ \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

記載日 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

1. 医学・医療における倫理性

診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察 機会なし
1. 人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
2. 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
3. 倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
4. 利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
5. 診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				

良かった点を記述してください。

改善すべき点を記述してください。

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 \_\_\_\_\_

研修分野・診療科 \_\_\_\_\_

観察者氏名 \_\_\_\_\_ 区分  歯科医師  歯科医師以外(職種名 \_\_\_\_\_ )

観察期間 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ~ \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

記載日 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

2. 歯科医療の質と安全の管理

患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察 機会なし
1. 医療の質と患者安全の重要医療の質と患者安全の重要性を理解し、それらの評価・改善に努める。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
2. 日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
3. 医療事故等の予防と事後の対応を行う。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
4. 歯科診療の特性を踏まえた院内感染対策について理解し、実践する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
5. 医療従事者の健康管理(予防接種や針刺し事故への対応を含む。)を理解し、自らの健康管理に努める。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				

良かった点を記述してください。

改善すべき点を記述してください。

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 \_\_\_\_\_

研修分野・診療科 \_\_\_\_\_

観察者氏名 \_\_\_\_\_ 区分  歯科医師  歯科医師以外(職種名 \_\_\_\_\_ )

観察期間 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ~ \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

記載日 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

3. 医学知識と問題対応能力

最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。

		レベル1 期待を 大きく 下回る	レベル2 期待を 下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を 大きく 上回る	観察 機会なし
3-1. 頻度の高い症候について、適切な臨床推論のプロセスを経て、識別診断と初期対応を行う。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3-2. 患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮した臨床決断を行う。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3-3. 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3-4. 高度な専門医療を要する場合には適切に連携する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

良かった点を記述してください。

改善すべき点を記述してください。

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 \_\_\_\_\_

研修分野・診療科 \_\_\_\_\_

観察者氏名 \_\_\_\_\_ 区分  歯科医師  歯科医師以外(職種名 \_\_\_\_\_ )

観察期間 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ~ \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

記載日 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

4. 診療技能と患者ケア

臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・意向に配慮した診療を行う。

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察 機会なし
4-1. 患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
4-2. 診察・検査の結果を踏まえ、一口腔単位の診療計画を作成する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
4-3. 患者の状態やライフステージに合わせた、最適な治療を安全に実施する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
4-4. 診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				

良かった点を記述してください。

改善すべき点を記述してください。

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 \_\_\_\_\_

研修分野・診療科 \_\_\_\_\_

観察者氏名 \_\_\_\_\_ 区分  歯科医師  歯科医師以外(職種名 \_\_\_\_\_ )

観察期間 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ~ \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

記載日 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

5. コミュニケーション能力

患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察 機会なし
5-1. 適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
5-2. 患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
5-3. 患者や家族のニーズを 身体・心理・社会的側面から把握する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				

良かった点を記述してください。

改善すべき点を記述してください。

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 \_\_\_\_\_

研修分野・診療科 \_\_\_\_\_

観察者氏名 \_\_\_\_\_ 区分  歯科医師  歯科医師以外(職種名 \_\_\_\_\_ )

観察期間 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ~ \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

記載日 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

6. チーム医療の実践

医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察 機会なし
6-1. 歯科医療の提供にあたり、歯科衛生士、歯科技工士の役割を理解し、連携を図る。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
6-2 .多職種が連携し、チーム医療を提供するにあたり、医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
6-2. チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				

良かった点を記述してください。

改善すべき点を記述してください。

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 \_\_\_\_\_

研修分野・診療科 \_\_\_\_\_

観察者氏名 \_\_\_\_\_ 区分  歯科医師  歯科医師以外(職種名 \_\_\_\_\_ )

観察期間 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ~ \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

記載日 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

7. 社会における歯科医療の実践

医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会に貢献する。

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察 機会なし
7-1. 健康保険を含む 保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
7-2. 地域の健康問題やニーズ把握 など、公衆衛生活動を理解する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
7-3. 予防医療・保健・健康増進に努める。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
7-4. 地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
7-5. 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要について理解する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				

良かった点を記述してください。

改善すべき点を記述してください。

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 \_\_\_\_\_

研修分野・診療科 \_\_\_\_\_

観察者氏名 \_\_\_\_\_ 区分  歯科医師  歯科医師以外(職種名 \_\_\_\_\_ )

観察期間 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ~ \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

記載日 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

8. 科学的探究

医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。

		レベル1 期待を 大きく 下回る	レベル2 期待を 下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を 大きく 上回る	観察 機会なし
8-1. 医療上の疑問点 に対応する能力を身につける。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8-2. 科学的研究方法を理解し、活用する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8-3. 臨床研究や治験の意義を理解する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

良かった点を記述してください。

改善すべき点を記述してください。

「B. 資質・能力」に関する評価

研修歯科医名 \_\_\_\_\_

研修分野・診療科 \_\_\_\_\_

観察者氏名 \_\_\_\_\_ 区分  歯科医師  歯科医師以外(職種名 \_\_\_\_\_ )

観察期間 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ~ \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

記載日 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

医療の質の向上のために省察し、他の 歯科 医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。

		レベル1 期待を 大きく 下回る	レベル2 期待を 下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を 大きく 上回る	観察 機会なし
9-1. 急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9-2. 同僚、後輩、歯科 医師以外の医療職と互いに教え、学びあう。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9-3. 国内外の政策や医学及び医療の最新動向(薬剤耐性菌等を含む。)を把握する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

良かった点を記述してください。

改善すべき点を記述してください。

「C 基本的診療業務」に関する評価

研修歯科医名 \_\_\_\_\_

研修分野・診療科 \_\_\_\_\_

観察者氏名 \_\_\_\_\_ 区分  歯科医師  歯科医師以外(職種名 \_\_\_\_\_)

観察期間 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ~ \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

記載日 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

1. 基本的診療能力等

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察 機会なし
1) 基本的診察・検査・診断・診療計画	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	①患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する。	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②全身状態を考慮した上で、顎顔面及び口腔内の基本的診察を実施し、診察所見を解釈する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
③診察所見に応じた適切な検査を選択、実施し、検査結果を解釈する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
④病歴聴取、診察所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行う。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
⑤診断結果に基づき、患者の状況・状態を総合的に考慮した上で、考え得る様々な一口腔単位の診療計画を検討し、立案する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
⑥必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患者及び家族の意思決定を確認する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
(2) 基本的臨床技能等	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	①歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を実践する。	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を実践する。(必修 a歯の硬組織疾患 b. 歯髄疾患 c.歯周病 d. 口腔外科疾患 e. 歯質 と歯の欠損 f. 口腔機能の発達不全、口腔機能の低下	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
③基本的な応急処置を実践する。(必修)	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				

④ 歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を評価する。(必修)	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
⑤ 診療に関する記録や文書(診療録、処方せん、歯科技工指示書等)を作成する。(必修)	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
⑥ 医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し、実践する。(必修)	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
<b>(3) 患者管理</b>						
① 歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する。(必修)	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
② 患者の医療情報などについて、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。(必修)	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
③ 全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。(必修)	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
④ 歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を実践する。(必修)	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
⑤ 入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践する。(必修)	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
<b>(4) 患者の状態に応じた歯科医療の提供</b>						
① 妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理について理解し、実践する。(必修)	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
② 各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。(必修)	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
③ 障害を有する患者への対応を実践する。(選択)	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				

## 2. 歯科医療に関連する連携と制度の理解等

		レベル1 期待を 大きく 下回る	レベル2 期待を 下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を 大きく 上回る	観察 機会なし
<b>(1) 歯科専門職の連携</b>	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	①歯科衛生士の役割を理解し、予防処置や口腔衛生管理の際に連携を図る。 <b>(必修)</b>	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②歯科技工士の役割を理解し、適切に歯科技工指示書を作成するとともに、必要に応じて連携を図る。 <b>(必修)</b>	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を理解し、説明する。 <b>(必修)</b>	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>(2) 多職種連携、地域医療</b>	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	①地域包括ケアシステムについて理解し、説明する。 <b>(必修)</b>	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する。 <b>(必修)</b>	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③がん患者等の周術期など口腔機能管理において、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、多職種によるチーム医療に参加し、基本的な口腔機能管理を経験する。 <b>(選択)</b>	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④歯科専門職が関与する多職種チーム(例えば栄養サポートチーム、摂食嚥下リハビリテーションチーム、口腔ケアチーム等)について、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、チーム医療に参加し、関係者と連携する。 <b>(選択)</b>	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤入院患者の入退院時における多職種支援について理解し、参加する。 <b>(選択)</b>	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>(3) 地域保健</b>	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	①地域の保健・福祉の関係機関、関係職種を理解し、説明する。 <b>(必修)</b>	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②保健所等における地域歯科保健活動を理解し、説明する。 <b>(必修)</b>	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>(4) 歯科医療提供に関連する制度の理解</b>	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	①医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを理解し、説明する。 <b>(必修)</b>	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②医療保険制度を理解し、適切な保険診療を実践する。 <b>(必修)</b>	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

③介護保険制度の目的と仕組みを理解し、説明する。 (必修)	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				

良かった点を記述してください。

改善すべき点を記述してください。

「D 医科研修」に関する評価

研修歯科医名 \_\_\_\_\_

研修分野・診療科 \_\_\_\_\_

観察者氏名 \_\_\_\_\_ 区分  歯科医師  歯科医師以外(職種名 \_\_\_\_\_)

観察期間 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ~ \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

記載日 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

1. 麻酔科

		レベル1 期待を大きく下回る	レベル2 期待を下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を大きく上回る	観察 機会なし
1-1. 麻酔科カンファレンスに参加する	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
1-2. 術前訪問を行う。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
1-3. 気管内挿管を伴う全身麻酔を経験する。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
1-4. 術後管理を行う。	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
1-5. その他( _____ )	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>				
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>				

良かった点を記述してください。

改善すべき点を記述してください。

「D 医科研修」に関する評価

研修歯科医名 \_\_\_\_\_

研修分野・診療科 \_\_\_\_\_

観察者氏名 \_\_\_\_\_ 区分  歯科医師  歯科医師以外(職種名 \_\_\_\_\_)

観察期間 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ~ \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

記載日 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

5. その他の選択科( \_\_\_\_\_科)

		レベル1 期待を 大きく 下回る	レベル2 期待を 下回る	レベル3 期待通り	レベル4 期待を 大きく 上回る	観察 機会なし
5-1.( _____ )	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5-2.( _____ )	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5-3.( _____ )	研修歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	指導歯科医評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

良かった点を記述してください。

改善すべき点を記述してください。

研修歯科医氏名: \_\_\_\_\_

**A. 歯科医師としての基本的価値観(プロフェッショナリズム)**

到達目標	達成状況：既達／未達	備考
1社会的使命と公衆衛生への寄与	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
2. 利他的な態度	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
3人間性の尊重	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
4自らを高める姿勢	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	

**B. 資質・能力**

到達目標	達成状況：既達／未達	備考
1医学・医療における倫理性	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
2. 歯科医療の質と安全の管理	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
3医学知識と問題対応能力	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
4診療技能と患者ケア	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
5コミュニケーション能力	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
6チーム医療の実践	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
7社会における医療の実践	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
8科学的探究	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
9生涯にわたって共に学ぶ姿勢	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	

**C. 基本的診療業務**

到達目標	達成状況：既達／未達	備考
1基本的診療能力等	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
2. 歯科医療に関連する連携と制度の理解等	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	

**D. 医科研修**

到達目標	達成状況：既達／未達	備考
1. 麻酔科	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
2. 皮膚科（形成外科）	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
3. 耳鼻咽喉科	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
4. 内科系（                      科）	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
5. その他の選択科 （                      科）	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	

